

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 54号
2021.10

発行:NPO法人
みどりの市民
〒380-8553 長野市若
里 4-17-1 信州大学
工学部 UFO ながの
高木研究室内
発行人: 高木直樹

2050年 ネットゼロに向けて

みどりの市民代表理事 高木直樹

気候変動対策として重要なものが「パリ協定」です。2015年にCOP21がパリで開催された時に決まりました。「長期的に気温上昇を産業革命以降2℃以下に抑えること。できるだけ1.5℃以下にすること。早急に排出量を自然吸収量と同程度にすること。」としています。そこで2050年に温室効果ガス排出量を実質ゼロ(ネットゼロ)にすることを目指すことになります。日本政府も昨年菅首相が2050年ネットゼロ、2030年に2013年度比-46%を打ち出しました。長野県は2050年ネットゼロは同じですが、2030年は-60%です。

2050年にはネットゼロになることを約束したのですから、実現する義務が発生します。どのように実現するのか?基本的には、電源対策を含むエネルギー対策+あらゆるものでの省エネあるいは電動化しかありません。化石燃料を燃やせば、どのように省エネ・高効率化しても排出量をゼロにすることはできません。

家庭の視点で見れば、1.ライフスタイルの省エネ化、2.機械、住宅、設備の高効率化、3.太陽光発電、太陽熱温水器などの創エネ。この組み合わせで実現するしかありません。1.は生活を見直すことを続けていけば、光熱費が下がることで実感できるでしょう。2.は家電や車などを更新する際にその時点で購入できる最高の省エネ機器にすることしかできません。でもそれがベストな方法ですね。問題は住宅です。賃貸では選択肢が少なすぎる。新築では価格の点で手が届かない。リフォームで省エネ化を検討すると、新築並みに高くなる。といったことが指摘されています。国や県は2030年に省エネ住宅の義務化、新築・リフォーム時の省エネ対策への補助金など、様々な方法を行っています。1.のライフスタイルを頑張れば、2.の機械や住宅の更新の際のハードルが下がります。強い意思をもって、継続していくことが重要ですね。3.の創エネはハードルが下がりました。今はソーラーパネルを載せることは、ほとんどの住宅で安くて効果的な方法です。自家消費をします。電力会社から電気を買うよりも自分で作った方が安くなります。ご検討ください。



長野県温室効果ガス排出量の削減目標

2021 夏休みエコアクティブ塾 活動報告



コロナ禍となつての2年目の今年の夏休み、「2021 夏休みエコアクティブ塾」の3つの講座は、お天気にも恵まれ、無事終了することができました。昨年同様、長野市教育委員会の後援を受け、信州環境カレッジ地域講座に登録しての開催でした。

3つの講座は「川の中の生き物見つけ隊／7月29日」「体験！街も地球もなぜ暑い？／8月4日」「君もサンキャッチャーになろう！／8月5日」。参加者した親子は合計39人、子どもたちは今の地球の現状を体験し、地球のために今何をしたらよいか学んでくれました。

「川の中の生き物見つけ隊」の講師清水久美子さんからレポートを寄稿していただきました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇「川の中の生き物見つけ隊」◇◇◇◇◇◇◇◇◇

清水久美子（環境カウンセラー みどりの市民会員）

7月29日、丹波島橋から2キロほど上流の犀川で、エコアクティブ塾「川の中の生き物探し」を開催し親子13組18人が集まりました。

川で怖いのが水の事故、当NPO理事・会員・事務局のみなさんに監視についていただいたおかげで安心して活動することができました。

川の生き物と言えば魚やサワガニなどイメージ、活動前に普段は目にしない小さな川虫を参加者に見てもらい、その採り方を説明し、いざ活動開始！

小魚を追う子、石をめくる子、岸の繁み近くを網で探る子、足で水底の石を動かすお父さんとその下流で網を持つ子・・・、初めて目にする生き物に子どもたちの目が輝きます。お母さんたちは採集した生き物をスマホに収めて、一研究のお手伝い。

大勢で採集すると、たくさんの生き物に出会えるのがこの活動の醍醐味、参加者が来る前に田中さん

が上流の深い所で採集してくださったエビや魚は、浅瀬では出会えない生き物を見る機会になり、おじいちゃんが伊那のザザ虫採りという親子が採ったヘビトンボの幼虫(4年もの?)はこの日のヒーローでした。

最後に、スタッフが河原で採集したプラスチックごみ

を紹介し、生き物への影響を説明し無事に閉会することができました。スタッフの皆さんありがとうございました。子どもたちの満足そうな笑顔は、主催者を心から元気してくれました。



採集した生き物

きれいな水に棲む生き物：サワガニ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、

きれいな水と比較的きれいな水の両方に棲む生き物：タニガワカゲロウ、チラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、

比較的きれいな水に棲む生き物：コオニヤンマ

この他：ハグロトンボのヤゴ、ダビドサナエのヤゴ、テナガエビ、カジカ(魚)、ナマズ、シジミ貝、巻貝(名前不明)、ヤマアカガエルなど



ヒラタカゲロウ



参加者振り返りシートより

○ 「川の中の生き物見つけ隊」

いろんな生き物を見つける感覚が、面白かったです。(中略)川をこれからもずっときれいな川になるように、(中略)ごみを見た時、自分は汚さないようにしようと思いました。

★ 「体験！街も地球もなぜ暑い」

自然なものはすべて50℃以下で人工のものはほぼ50℃以上だった。車は、黒だと80℃をこえたからすごくびっくりしました。

✱ 「あなたもサンキャッチャーになろう」

太陽の光を集めて調理できることが分かった。CO2のこともくわしく分かってよかった

これって”ステイホーム”と言える？

会員 山崎 佳久（日野市在住）

ステイホームコラム NO.6

年寄りや若い人達のように多様性のある幅広い行動は出来ませんので限られた幅の中での行動となります。これまでも春になると山梨と東京を歩き来しながら趣味でやっている農作業を楽しんでいました。ステイホームと言っても日々の生活で時間の使い方や行動に多少の変化はあるものの大きな変化はありません。



あれは昨年2月のダイヤモンドプリンセス号のコロナ感染症に始まる。当初我々はプリンセス号だけで感染症収束かと思われていた。しかし感染は地球規模で中国の武漢、欧州ではイタリア、フランス、ドイツ、そしてアメリカ等世界的な大流行が報告されていた。

そんな中、我が国は外国からの帰国者、旅行者に対する生ぬるい水際対策が危惧され、急速に感染者が増加する中、国も急速、学校を春休み明けまで全校を休校とする奇策、市場からマスクが消えたといつてアベノマスクなる意味不明なマスクの配布。3月になると特別措置法を制定して4月上旬に感染者が急増する首都圏および7都府県に第一波の緊急事態宣言を。感染者が急拡大した中旬にはこれを全国に拡大し同時に三密（密集、密閉、密接）を避け、手洗い、マスクの着用、消毒、県境を越えての移動の自粛、公共交通機関の大幅な減便、等々を掲げ、国民の協力を求めた。詳しい情報が得られない中での国民の協力もあって、5月の下旬には首都圏と北海道を除き緊急事態宣言の解除。しかしこの結果は経済的に大きなダメージとなり観光業関連事業者の疲弊が特に深刻で、7月になると人流の抑制を提言する分科会の進言を無視してG0-T0-トラベルを強行した。結果的にこれが第二波緊急事態宣言に繋がったと言っている。

こんな対応の繰り返しでこれまで国や自治体の全ての施策に後手が目立ち、ピントのずれた施策が目立つ。際立った事案はワクチン接種である。先行する国からすると半年遅れ、すると法律の所為、接種が進むと今度はワクチン外交の成果と言う、全く！

私がコロナ禍で学んだ事は国や自治体に頼ってはいは割り食ってしまう、自分の事は自分でリスクを判断して行動する事です。



勿論この間、私にも自粛で例年に比べ出来なかった事は多々あります。

今はブレイク感染に気を付けながら山梨と東京を減便された交通機関を利用、制約を受けながらも行き来して趣味の農作業をやっています。これからの時期はサツマイモ、ヤーコン、隼人ウリ、蕎麦、花豆、そして秋野菜の収穫が待っています。

一口メモ：そば切りの歴史：蕎麦の歴史は古く、縄文時代から栽培されていたと考えられている。また日本のそば栽培の起源は古墳時代少なくとも1,500年以上前から。そば切りが出来るまではそばの実を丸のまま食べる「そば米」やそばの実を砕いてお湯でこねた「そばがき」として食されてきた。ざるそばやかかけそばのような麺の形状、いわゆる「そば切り」となった歴史は江戸時代の少し前からです。（日穀製粉株式会社「知る・学ぶ・楽しむ」）

みどり農園へ行こう！

≪みどり農園ブログ 2021 年 8 月 4 日より ∞じゃがいも掘り ∞≫

8/1(日)、"サマーチャレンジ"に合わせて「ジャガイモ掘り」を行いました。(残念ながら参加予定のメンバーは都合つかず不参加となりました)

朝 9 時、快晴の中、お子さん 3 人含む 12 名が現地に集まりました。草の繁殖がすごく、草刈りから作業開始です。

起こし、掘り出し、掘り残し確認と作業を進めます。<<汗ダクです>> 7/18 に"洞爺"を掘った残り、"キタアカリ"と"男爵"を約一時間かけて掘りました。約 4 か月前(4/10)に植えた種芋です。蔓が見当たらず草の中から芋を探す状態でした。掘ったイモは均等分けて持ち帰りました。

大豆の花は今が満開状態です。

秋には大豆の収穫予定です。⇒ 10/10(日)予定。(現地集合時刻は午前 9 時です。)

「さつまいも」は順調に生育しています。「大根(聖護院)」は今月末に種まき予定です。(文:山口、写真:渡辺)

8 月 1 日収穫後にみんなでハイポーズ



お知らせコーナー

「美容室でできる SDGs の輪を広げたい」の期待を受けて

～理美容商品の販売業者から寄付の申し入れを受ける～

市内の早川美容商事(長野、新潟の美容室に理美容商品の販売と卸を展開)は、ヘアカラー剤の空き容器(アルミ製)を美容室から回収しリサイクルする取り組みを始め、換金した収益を「みどりの市民」に寄付をしたいとの申し入れがありました。理美容業界に持続可能な開発目標(SDGs)実現への意識を浸透させるために「美容室でできる SDGs の輪を広げたい。お客さんも環境について考えるきっかけになる」(早川社長談)との期待をみどりの市民の活動に託したいという趣旨です。理事会で協議し、期待を支えに、みどりの市民の活動に有効に活かしていきたいと、寄付の受け入れを決めました。



(美容室に配布されるラベル)

【公開セミナー】参加者募集中(Zoom参加可能)

≪ 申し込み方法 ≫

下記みどりの市民の事務局へメール、☎、fax で、お名前、連絡先をご連絡ください。

海ごみ対策地域リーダー養成連続講座第 2 回

- ★ 日時：10 月 23 日(日) 10 時～12 時
- ★ 場所：長野市リサイクルプラザ多目的ホール
- ★ テーマ：海ごみの現状とその対策
- ★ 講師：容器包装の 3R を進める全国ネットワーク運営委員長 中井八千代氏

*行事等はコロナの感染状況により変更の可能性がありますので、事務局及びHPでご確認下さい。

みどりの市民の会員数(2021 年 10 月 1 日現在)
正会員 48 人 賛助会員 14 人 団体賛助会員 1 団体

〒380-8553 長野市若里 4-17-1

信州大学工学部 UFO ながの高木研究室内

TEL&FAX 026-269-5092

E-mail: midorit18@shinshu-u.ac.jp

URL <http://midorinoc.sub.jp/>



≪ キャンパスの一隅にて ≫ みどりの市民の事業で生ごみの一次生成物の回収事業「どんぐり・るるネット」の会員 A さんへ 7 月の回収時に堆肥化のコツを伝えた。9 月に連絡、ご主人から妻は 9 月 5 日に亡くなったと、昨年の 4 月に余命 1 年半と告知。私はびっくりして声を失った。彼女は堆肥化がうまくいくようにと、微生物に託していたのだ。命とは? 考えてしまった。(w.h.)